

50回目の国会請願、「埼玉同盟」奮闘す！



埼玉県からは18名が参加
 50回目の節目の「国会請願」が5月16日行われ、コロナ禍を克服して全国から130人を超える参加者で久しぶりに盛大に行われました。(詳細は本紙報道をご覧ください)

埼玉県からは18名が参加し、その内5名の方が初参加でした。また、四国と中国ブロックへ3名を派遣して全国的役割も果たしました。

埼玉選出の11名の議員を訪問
 新たな紹介議員も生まれる

全体集会のあと、4つの班に別れて、埼玉選出の立憲7名、共産2名、国民2名、計11名の議員と栃木と茨城選出の議員を訪問しました。そのうち昨年紹介議員になって下さった方は約半数の6名でしたが、事前に、現地事務所へ加藤ユリ会長名で「お願いの文書」

を送っていた事もあって「現地から連絡を受けています」と全体的には好意的な対応してもらいう事ができました。

立憲の枝野幸男事務所では、「昨年は時間切れで出し損じたが今年は大丈夫です」と秘書が対応、写真も撮らせて頂きました。昨年6月参院選で初当選した立憲の高木真理事務所では、「加藤会長の手紙を集団で検討し受けることにしました」と女性の秘書が訪問を待つていて、
 「地元から来た」と対話もはざみ、3百筆の署名を快く受取ってくれました。

伊藤岳参議員に署名を手渡す望月たけし理事(右)と小池莊市副会長



「生活凶画事件」菱谷良一さんを囲んで



「不屈」No588付録
 埼玉版 (No416)
**治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟
 埼玉県本部**
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂
 2-3-10 黒澤ビル3B
 電話・Fax 048-824-0094
chian2022@gmail.com

〔国会請願三項目〕
 ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
 ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

また、共産党の伊藤岳議員は、会議中でしたが、「写真を撮りたい」と秘書にお願いしたら、時間を作ってくれ署名をじかに渡すことが出来ました。

全体集会で埼玉から二人発言
 3時から、全体集会を再開され、「訪問結果の交流」が行われましたが、埼玉からは、初参加の行田・羽生支部の柳沢さんと3班の班長を務めた岩槻支部の渡辺さんがそれぞれ発言し会場を沸かせました。

集会后、北海道から駆けつけた102歳になられる菱谷良一さんを囲んでの記念撮影が今年も出来ました。

「特別期間」(6月末迄)の成功めざして「奮闘を

埼玉県同盟は、中央本部が提起した「特別期間」に会長を先頭に積極的に取り組み、4月は10名を拡大し、念願の四百名を超過達成しました。5月は地方議員の方が3名入会されました。先の統一地方選で当選した新議員さんへ加藤会長名で「入会をよびかけ」を送った努力が実り始めています。早速、所沢の花岡議員が入会され、「入会の記」が届きましたので掲載させていただきます。

入会の記

花岡 健太

こんにちは、所沢市の市議会議員となりました。花岡健太です。本日は私が「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟」に加盟した動機について語らせていただきます。私が加盟した理由は私が日本共産党の黨員だからです。私は日本共産党の根幹にある、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を貫く姿勢に共鳴し入会いたしました。そして、日本共産党がそのような姿勢をぶれずに

国会請願署名推進コーナー

〔個人署名〕

- 高田 哲郎 (小鹿野町) 45筆
- 菅原 明 (緑区) 21筆
- 橋本 静修 (浦和区) 45筆
- 大迫 憲三 (南区) 5筆
- 柴山たか子 (宮代町) 9筆
- 佐藤 弘 (飯能市) 10筆
- 高橋忠夫・靖子(熊谷市) 7筆
- 年金者組合埼玉県本部 20筆
- 埼玉県教職員組合 38筆
- 自治労連 11筆
- さいたま地区労働組合協議会 10筆
- 新日本婦人の会岩槻支部 20筆
- 同 草加支部 39筆
- 埼玉母親連絡会 2筆

〔団体署名〕

- 埼玉県教職員組合、蕨市教職員組合、さいたま市教職員組合、春日部市教職員組合、桶川市教職員組合、同小学校分会、同北足立北支部、同埼玉葛支部三郷単組、同東松山南中学校分会、同西部支部川越単組、全日本年金者組合狭山支部、国労浦和電車区分会、全国一般埼玉丸八真綿分会、岩槻区社会保障をよくする会、新日本婦人の会草加支部、同岩槻支部、同岩槻支部あかしや班、同コスモス班、同そよかぜ班、同いずみ・もみじ班、同しらさぎ班、埼玉AALA、同杉戸・宮代・春日部支部、日本共産党南部地
- 埼玉AALA 150筆
- 埼玉憲法会議 5筆
- 北足立北教育会館 50筆
- 日本共産党埼玉県委員会 218筆
- 同 西南地区委員会 30筆
- 同 東部南地区委員会 15筆
- 同 東部北地区委員会 78筆
- 同 西部東地区委員会 43筆
- 同 入間市仏子支部 12筆
- 国賠同盟 春日部支部 83筆
- 同 川越支部 10筆
- 同 ふじみ野支部 5筆
- 同 行田・羽生支部 151筆

区安行東支部、同北部地区上里支部
署名合計 (今年度最終)
 個人署名 6397筆
 団体署名 137筆

この一年間、「署名」への協力
 ありがとうございます。

50回目の節目の「国会請願」の成功をめざして、「署名」に取り組み、埼玉同盟は、目標の一万筆には届きませんでした。昨年を上回る六五四筆を集め、埼玉選出の国会議員へ届ける事ができた。署名に取り組んで下さった多くの団体、個人の皆様にあたためてお礼申し上げます。いま、「新しい戦前」が叫ばれるご時世に、私たちの国賠運動が益々重要になっております。来年5月の「国会請願」に向けまた署名をスタートして参りますので宜しくお願ひ申し上げます。

女性部「再開会議」のお知らせ
 日時：6月19日(月) 13時30分
 場所：浦和・黒澤ビル3階コラボ
 *楽しく有意義な企画を準備して皆様のお越しをお待ちしています。



貞吉は上州甘楽郡上日野村(現群馬県藤岡市)の出身で当時二二歳。貞吉は小柏常次郎らと明治一七年初めから多くの村民を自由党に加盟させ、父親の寅吉と共に上下日野村から秩父事件に四〇数名を参加させている。

秩父事件探訪

第21回

新井貞吉の墓碑

篠田 健一

菊池貫平が率いる信州進出に加わり、弾薬輸送を指揮した。一月九日、高崎鎮台兵との東馬流の戦闘後、山梨県に逃れたが同県増富村でとらえられた。明治一八年一月二十九日、前橋重罪裁判所は十国峠での前川彦六巡查殺害にかかわったとして死刑を宣告した。同年五月一日、貞吉は前橋監獄で死刑執行となった。

「国うれふ、心のくもりはれもせて 死出の旅路をたどる我身は」の辞世を残した。「国うれふ」とは、人民の生活を破綻に追い込んだ国を憂えるという意味。「圧制を変じて良政」をめざしたが、残念ながらならなかった。だから「心のくもり」が晴れないまま「死出の旅路」をたどらなければならない。なんと悔しいことか。そういう思いが伝わってくる。

【交通】JR八高線群馬藤岡駅より藤岡市営バス(0274-221211)小柏行小柏下車。

「国会請願行動」に参加して 初参加されたお二人の感想文です

我々の世代がこの運動を引き継がねば

また生活凶画事件を初めて知ったことで、治安維持法の恐ろしさに身が震える思いが

日本共産党県委員会勤務員 須田 真明
私は今回初めて国会請願に参加しました。私の犠牲者に対する謝罪せず、の挨拶を聞き、治安維持法犠牲者の高齢化が進んでいるということ。一方で、この国会請願が今回で50回目にもなることや、高齢でもなお頑張る先輩会員や犠牲者の方の姿を間近で見ることで、継続することの大切さと「我々の世代がこの活動を引き継がなくてはならない」との思いを改めて感じました。



「生活凶画事件」菱谷良一さん

私一言



鉄の骸骨兵と同盟・沖縄の村山純さん

武田美通 鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」を広める会 仲内 節子

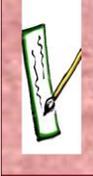
武田美通と鉄で造った骸骨の日本兵を知ってから 人も肩書なしで刻銘されているでしょう。みんな戦争の19年。彼の描く日本兵は侵略兵でもあったが、自国 犠牲者です」と不安を払拭してくれた。結果、コロナ前の無謀な戦争で殺された被害者でもあったと伝えて の2年連続で県立美術館と摩文仁の平和祈念資料館のこの作品に出会わなければ、戦陣訓、白骨街 での作品展となり大成功をおさめた。いま村山さんは道、サイパン、沖縄戦等「知っているつもりで終わっ 自衛隊員に見せたい、宮古島で作品展を」と提案して ださう。武田さんは沖縄では作品展はできないと かれていて。実現すれば再び「沖縄を捨て石にしての大 諦めていた。ところが武田さん没後に沖縄県国賠同 軍拡」に反対する意思表示となる。その前に7月は東 盟の村山純さんと知りあえたことで2回も沖縄展が 京での全作品展。物言わぬ鉄のガイコツ兵がその姿で戦 実現した。村山さんは「沖縄でこそ展示されるべき 争とは何かを語ってくれるはずだ。 作品」と言い、仲間たちを引き合わせてくれた。日 (武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」全 本兵なんですよ、大丈夫?と確認した時「摩文仁の 作品展 文京シビックホール1階ギャラリーにて、7月 平和の礎」を「こらなさい、日本兵も県民も外国人 20日〜25日開催)

請願行動にはじめて参加して
行田・羽生支部 柳澤 由明
私は、昨年5月に国賠同盟に加盟しましたが、コロナに感染し、長期の隔離入院を強いられていたため、支部会議にも行動にも参加できませんでした。5・16国会請願に初めて行田・羽生支部の仲間4名と参加しました。
国会請願行動には全国から一三〇名超の仲間の参加があり、重要な行動と実感しました。
行田羽生支部の4人で立憲民主党の国会議員4人に集めた請願署名の紹介議員になつてもうために議員事務所を訪問し、趣旨を説明して4人中3人の議員からほぼ承諾を頂きました。この活動を通して、署名を集めることの重要性和の重さを、紹介議員になつてくれる議員を増やすことの大切さを学びました。
秘書に署名を託す柳澤さん 枝野幸男事務所に



秘書に署名を託す柳澤さん 枝野幸男事務所に

同盟文芸



短歌

反共の 攻撃受けた 担い手は 共に闘う 新たな同志
春日部市 細谷 宣朗

健康保険証をマイナカードが駆逐する 怒りわきくる朝のテレビに
川口市 宮地 さか枝

俳句

五月晴れ庭の散歩に猫おとも
春日部市 浅子 薫衣

麦秋や想い膨らむ古希なりて
行田市 大野 辰男

武力では平和作れぬ汗に込め
さいたま市 小池 荘市

川柳

アヤマ咲き五月の風もさわやかに
行田市 鈴木しげる

処理水を永田町で使つたら
抑止論言替えすれば必要論
春日部市 福家 駿吉

熱風

戦後78年、先の侵略戦争に反省のないまま戦前回帰の政治を進めて来た自民党政治、今の日本は満州事変前夜に似ていると言われているが、新しい戦前にしないために、いま、歴史の真実を語り知らせていくことの大切さを痛感する▼日露戦争で中国東北部の統治を手中にした日本、終結後もその権益を守るためとして兵を残留、でつち上げと言われる柳条湖事件(満州事変)を開始、かいらい政権満州国をつくる▼アメリカに端を發した世界恐慌により日本経済も大打撃、生糸の暴落により農村は明日喰う米がない、怒りは軍や国へ、二・二六事件勃発。政府は満州移民百万戸五百万人の移住計画を発表し夢の国「王道楽土」を宣伝し、奨励金一戸千円、土地20町歩を更に一村で三百戸以上移住成れば分村として特別金も支給すると発表、全国から27万超える人々が渡満する▼侵略戦争は苦戦に陥り、関東軍は南方へ転戦し、ソ連国境に民間人が盾とされた。ソ連の参戦により開拓団の逃避行が始まり、集団自決、母親が泣きながら我が子を絞め殺す狂気、この悲劇で、七万人が犠牲となった▼信州伊那谷の村々に開拓犠牲者の慰霊碑がある。帰郷のたびに国策に従い国に捨てられた方々にお詫びし平和を守りますと手を合わせている。